

大阪+知的障害+地域+おもろい=創造

## 知の知の知の知

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所情報誌通算 4201号 2018.2.8 発行

**18年度診療報酬改定 負担、サービス どう変わる** 毎日新聞 2018年2月8日  
 2018年度の診療報酬改定が実施されると、サービスが手厚くなる一方、自己負担が増える場合もあるなど、患者にもさまざまな影響がある。厚生労働省の試算から、入院や在宅医療など四つの例を紹介する。【堀井恵里子、野田武】

**脳梗塞で手術(58歳)**

脳梗塞のため夜間に緊急入院し、手術。集中治療室(ICU)に3日間、一般病棟に11日間入院。術後からリハビリ



自己負担	現在	9万4287円
	4月から	9万4667円

※自己負担は3割。高額医療費に対する支援制度を活用(約40万円)。検査や麻酔、点滴、投薬、食費などは別

### 脳梗塞 早期からリハビリ

脳の血管が詰まる病気で、手足のまひや言語障害などの後遺症が残ることも多い脳梗塞(こうそく)。後遺症を防いだり軽くしたりするには、できるだけ早くリハビリを始めるのが効果的と言われる。今回の報酬改定で発症早期からのリハビリを受けやすくなる。

脳梗塞で倒れた58歳の男性患者は緊急入院して、詰まった血栓(血の塊)を溶かして血流を再開する薬を静脈注射する治療を受けた。集中治療室ではさまざまな医療スタッフによるリハビリを受けた。こうした態勢を整えた医療機関に対する加算が新設され、その分、患者負担は増える。

一方、歯周病や虫歯がある人は手術などの際に感染や誤嚥(ごえん)性肺炎を起こす恐

れがある。これを防ぐため口腔(こうくう)ケアの報酬対象に脳梗塞治療も加わった。男性の負担は増えるが、歯科医や歯科衛生士から口腔ケアを受けることができた。

これらの治療を14日間の入院で受けた男性の医療費の自己負担分は、51万7095円となるが、高額な医療費への支援制度により42万2428円分の負担が軽減され、実際の負担は9万4667円となった。

医療的ケア児 訪問看護、回数増加

日常生活を送るために人工呼吸器の装着や、胃ろうによる栄養摂取が必要となる「医療的ケア児」。

**肺炎で入院(6歳)**

気管切開後に気道確保のための管を挿入し、たんを吸引する医療的ケアが必要。肺炎で救急搬送され、7日間入院。退院後長時間の訪問看護を週3日



自己負担	現在	7万2128円
	4月から	8万1613円

※未就学児なので自己負担は2割。高額医療費に対する支援制度を活用(約2000円)。投薬などは別

医療技術の進歩で従来は救命の難しかった新生児が助かるようになったことで増加傾向にある。こうした子どもへの支援が充実し、在宅での生活が送やすくなる。

気管を切開して人工呼吸器を付けている6歳の女兒は、定期的にたんの吸引が必要だ。肺炎で救急搬送されて7日間入院し、退院してからは訪問看護を受けることになった。

医療的ケア児への長時間訪問看護は従来、報酬がつくのは週1回に限られていたが、週3回まで認められることになった。これにより女兒は2～3日に1回の割合で訪問看護を受けることができる。また、介護職員のたん吸引に看護師が付き添ったり助言したりする行為にも加算がつくことになった。たんの吸引を、より安全に受けられるようになる。

女兒の医療費（月額）の自己負担は、改定前より9485円増の8万1613円となる。

子どもへの医療費助成制度のある自治体は多く、該当する場合、自己負担はこれより少なくなる。

認知症 医師ら連携し治療

認知症はささいなことで怒りっぽくなるなど、家族が対応に悩むことも多い。在宅で暮らし続けるには、専門的な研修を受けた認知症サポート医とかかりつけ医の連携も大切だ。

かかりつけ医がサポート医に患者を紹介し、サポート医が療養計画の策定や助言をする場合の評価を新設。その計画にもとづいて患者を治療するかかりつけ医にも新たな指導料が付き、在宅で充実した治療を受けられるようになる。

高齢者は薬の飲み過ぎも問題だ。このケースは複数の医療機関に通い計6種類の飲み薬が出ている。薬を一括して把握する薬剤師がかかりつけ医に提案し、2種類以上減らせた場合、新たに報酬が出るようになる。薬剤師の積極的な働きかけを促す。

医療機関で払う

自己負担

**認知症の疑い(75歳)**

高血圧や糖尿病などで複数の医療機関に通院中。認知症の疑いでかかりつけ医を受診。かかりつけ医は認知症サポート医や薬局と連携



自己負担	現在	2035円
	4月から	2076円

※後期高齢者なので自己負担は1割。投薬などは別

はサービスが手厚くなる分、計1271円と倍以上に増える。一方、減薬と先発医薬品から価格の安いジェネリック（後発医薬品）への切り替えで薬代は下がり、調剤料などを合わせた薬局での支払いは半額近い805円に。自己負担合計は1カ月で2076円でこれまでとほぼ同じだ。

末期がん 「自宅で最期」支え

末期がんでも最期を自宅で過ごす選択をする場合もあり、支える体制を手厚くする。

痛みなどを取り除く緩和ケア病棟は入院できるまでに日数がかかることが課題になっている。入院料を見直して、速やかな受け入れ態勢を整えた医療機関の報酬を引き上げ、希望する人はスムーズに在宅に移れるようになると期待される。

在宅では訪問診療のほか訪問看護を週4日受ける。自力で歩けないなど身体的な理由でも複数の看護職員による訪問が受けられるようになり、4日のうち1日利用する。依頼している訪問看護の事業所は、地域のほかの医療機関や訪問

**肝臓がんで在宅療養(78歳)**

末期がんの患者が一般病棟から緩和ケア病棟を経て退院。週2日の訪問診療と週4日の訪問看護を受ける。4日のうち1日は複数の看護職員が訪問



自己負担	現在	8万3696円
	4月から	8万3893円

※現役並み所得者なので自己負担は3割。高額医療費に対する支援制度を活用(約11万円)。投薬や材料費などは別



看護事業所向けの研修をするなどレベルが高いため、初日の報酬は高くなる。

訪問診療の主治医とケアマネジャーが互いに情報提供することも定められ、症状の変化に応じた介護サービスが受けやすくなりそうだ。

後期高齢者だが現役並み所得があるため、自己負担は1割ではなく3割。1カ月で計約19万円かかるところだが、医療費が高額になる場合の支援制度があり、現在より197円高い8万3893円に抑えられる。



パソコン介して受診

昨年9月に遠隔診療を始めた松葉育郎医師。手前のカメラ付きモニターを介して患者とやりとりする＝川崎市幸区の松葉医院で

パソコンやスマートフォンなどを介して、自宅など離れた場所にいる患者を医師が診察する遠隔診療が、新たに公的医療保険の適用対象となった。以前はへき地などでの活用が期待されていたが、最近は通院時間

の取りづらい多忙な現役世代向けの利用が注目されている。

糖尿病治療が中心の「松葉医院」（川崎市幸区）の松葉育郎院長は、机に置いたカメラ付きモニター越しに患者と向き合う。患者には血糖値を自分で測る機器を貸し出し、測定値は自動的に電子カルテへ送られてくる。松葉院長はデータを見ながら患者から生活の様子を聞き取る。診察を終えた患者はクレジットカードで医療費を支払う。

現在は保険適用外だが、4月以降、糖尿病や心不全、がん、高血圧症などの患者で、初診から半年以上たっている場合に保険診療の対象となる。毎月通院している人が隔月で遠隔診療にした場合、新たにオンラインによる診療料を取られるが、対面診療時にかかる医療費が減るので2カ月間でみれば負担は軽くなる見通しだ。

松葉医院は、こうした国の動きを見越して昨年9月に遠隔診療を開始。ウェブサイトから30分間隔で予約を受け付ける。診療時間になると患者がサイト経由でアクセスする仕組みだ。

現在は自費診療のため患者は数人だが、これまでに長期出張や外国へ行く人が利用している。松葉院長は「糖尿病で問題なのは治療の中断。遠隔診療なら忙しくても治療の中断を避けられる」と意義を強調する。保険が使えるようになれば受けたいという患者もいるという。

日本遠隔医療学会の長谷川高志・常務理事は「まずは報酬上評価されるようになったことが大事だ」と歓迎。その上で、「地域医療では、患者宅などを訪問した看護師が遠隔診療の仕組みを使って医師を支援する場合もある。今回の改定では盛り込まれなかったが、今後実態に合わせる必要も出てくるだろう」と指摘する。

一方、医療分野での利用が進むAI（人工知能）については、どう評価するかなど課題も多く、次回2020年度改定以降に持ち越された。【野田武】

## 介護報酬改定を了承 医療と連携強化へ

福祉新聞 2018年02月08日 編集部

### 改定案を了承した介護給付費分科会

厚生労働省は1月26日、社会保障審議会介護給付費分科会（分科会長＝田中滋・慶應義塾大名誉教授）に2018年度介護報酬改定案を示し、了承された。医療と介護の連携を充実させ、利用者の自立支援や重度化防止につながるサービスを推進する。基本報酬は特別養護老人ホームなどで増額したが、各サービスの事業収入は加算に頼る構造は変わらない。

介護報酬全体の改定率は昨年12月にプラス0・54%に決まった。厚労省は各サービ



スの収支差率、同分科会の審議報告などを踏まえて18年4月からの報酬を提示した。

今回の改定では、地域包括ケアシステムを進めるための医療との連携、質の高いサービスの実現に向けた自立支援・重度化防止の推進に関する評価が多く組み込まれた。

医療との連携では、特養の配置医師が深夜などに診療した場合の加算を新設し、一定の医療提供体制を整えて施設内で看み取った場合の報酬を手厚くする。

ケアマネ事業所が医療機関などと入退院時に連携する評価を充実させ、がん末期に頻回に訪問するなどした場合の加算を創設する。

認知症グループホームでは常勤の看護職員を配置する場合に評価する。

医療と介護を一体的に提供する介護医療院は、2類型のうち医師の配置が手厚い1.型は現行の介護療養病床（療養機能強化型）とほぼ同じ基準、報酬とする。21年3月末までに介護医療院に転換すると加算がつく。

障害者が65歳になっても、これまでの事業所を継続して利用できるよう通所介護、訪問介護、ショートステイで創設する共生型サービスの基本報酬は、通常の介護報酬と区別する。例えば障害福祉の生活介護事業所が要介護者にデイサービスを行う場合、本来の介護報酬の単位数に100分の93を乗じる。

一方、自立支援・重度化防止では、通所介護にアウトカム（成果）評価を導入する。食事や排せつなど日常の動作の状況を測る「バーセルインデックス」を指標とし、一定期間内に維持・改善がみられた場合の加算を新設する。

プロセス（過程）評価として、特養と老人保健施設における褥瘡じょくそう防止の取り組みに加算を設ける。施設系サービスでは排せつに関する計画を立て実施した場合、一定の間、高く評価する。

通所介護や訪問介護、特養などでは外部のリハビリ職などと連携して取り組んだ場合に評価する。

訪問介護の基本報酬は、身体介護中心型は1%以上上げ、生活援助中心型は1%程度下げる。生活援助は来年度創設する新研修（60時間程度）の修了者が提供しても介護福祉士と同じ報酬とする。

身体拘束について職員研修などを義務付け、未実施の場合の減算幅を10%に引き上げる。

そのほか人材の有効活用に向け、特養とショートステイで見守り機器を導入し、要件を満たした場合に夜勤の人員基準を緩和する。

サービスの適正化では、通所介護の時間区分を2時間から1時間に変えてきめ細かく報酬を設定し、大規模事業所の報酬は下げる。福祉用具貸与は全国平均額を公表し上限額を設ける。

事業所と同じ建物などに住む利用者にサービスを提供する場合の減算は、10%減の対象を一般の集合住宅にも広げ、1月当たりの利用者が50人以上の場合は15%減とする。

各サービスの基本報酬は、特養が約1.8%増（地域密着型特養は約3.1%増）、居宅介護支援（40件未満）が約1.1%増などとなった。しかし「サービスごとの増減は一概には言えない」（厚労省）と言うように、実際には加算の取得などにより事業収入は変わってくる。

17年の老人福祉・介護事業の倒産は過去最多の111件となり、特養の赤字施設は3割に上るなど、17年度のマイナス2.27%改定の影響は尾を引いている。加えて今回の改定では介護職員の処遇改善に直結する項目はなく、事業者団体からは「本来は基本報酬だけで運営できるようにすべきで、加算ありきはおかしい」といった声も聞かれる。

**障害者アートの光の中谷君県賞 「絵で山口アピール」 読売新聞 2018年02月08日**

スポーツを題材に障害者が手がけたアート作品のコンテスト「SOMPO パラリンアートカップ2017」の県賞に、田布施町の田布施総合支援学校中学部2年の中谷優真君

(14)(光市)が選ばれ、7日、同校で表彰式が行われた。

コンテストは一般社団法人・障がい者自立推進機構が主催。グランプリなど特別賞のほか、全国47都道府県ごとに受賞者を選ぶ。今回はサッカーとバスケットボールがテーマで、全国から754作品が寄せられた。

中谷君の作品は「世界に羽ばたけ!!」。青空に浮かぶ大きなサッカーボールを描き、飛行機やコンビナートなどを緻密に描き込んだ。

表彰式では、コンテストのスポンサー企業・損保ジャパン日本興亜の澤田良隆・山口支店長から、表彰状や受賞作をデザインしたボードが贈られた。中谷君は「うれしい。これからも絵を描き続けて、自分の絵で山口をアピールしたい」と喜びを語った。

## 著名文化人がオープンカレッジ=大分市

時事通信 2018年2月8日

バリアフリーファッションパーティーに参加する佐藤市長(右)=大分市

大分市で、有識者やアーティストが市民向けに講義などを行う「エンジン01(ゼロワン)文化戦略会議オープンカレッジin大分」が3日間開催された。NHK大河ドラマ「西郷どん」原作者の林真理子さんら第一線で活躍する文化人約150人が、講義やワークショップ、夕食会などで、計1万9000人の来場者と交流した。

初日に行われたオープニングシンポジウムでは、歴史学者の磯田道史さんと大分市出身でHKT48メンバー



の指原莉乃さんらが対談。指原さんは、大分の人々は「おおらかでゆったりしていて、優しい人が多い」とふるさとの魅力について熱く語り、約1500人の観客を楽しませた。

オープニングシンポジウムで談笑する指原莉乃さん=大分市

同日は作家の乙武洋匡さんが監修するバリアフリーファッションパーティー「バリパ」も開かれ、オーケストラの生演奏に合わせ健常者と障害者がペアになり登壇。

佐藤樹一郎大分市長も参加し、歌を披露すると、拍手と歓声が上がった。【もぎたて便】

## 障害者共学 考えよう

「インクルーシブ教育」で市民団体 東京新聞 2018年2月8日  
インクルーシブ教育について語る海老原宏美さん=東大和市で



障害の有無にかかわらず子どもたちが地域の学校で共に学ぶ「インクルーシブ教育」について考える講演会とドキュメンタリー映画の上映会が10日、東大和市民会館ハミングホール小ホール(同市向原6)で開かれる。主催する障害者団体「東京インクルーシブ教育プロジェクト(TIP)」代表の海老原宏美さん(40)は「多くの人と一緒に考えたい。悩んでいる人は相談を」と呼び掛けている。(服部展和)

TIPは昨年六月に設立。海老原さんは、障害者の自立支援や権利擁護に取り組むNPO法人自立生活センター東大和理事長も務めている。「包括的」などの意味がある英語を冠したインクルーシブ教育は、子どもが一人一人に合った配慮を受けながら地域の学校で学べる社会を目指す活動として広がりつつある。

脊髄性筋萎縮症のため人工呼吸器を使って自立生活する海老原さんは、障害児が特別支援学級・学校で学ぶ今の制度を「障害の有無で分けては偏見はなくなる」と疑問視する。「身近に障害のある人がいれば、大人になっても自然に手を伸ばせるはず。教員や保護

者だけでなく、障害者自身の意見も取り入れて改善すべきだ」と語る。

TIPはこれまでに学習会を四回開催。毎回、関東を中心とする約三十人が参加し、議論を重ねてきた。今後、都や都教育委員会などに政策提言する方針だ。海老原さんは「いずれは障害者も障害のない人と対等に暮らせる社会を目指したい」と話す。

当日は午後一時開場、一時半開演。インクルーシブ教育を実践する大阪市立大空小学校を追ったドキュメンタリー映画「みんなの学校」(真鍋俊永監督)を上映。映画に登場する木村泰子校長の後任の市場達朗校長が講演する。

参加費千円で定員三百人。申し込み・問い合わせは自立生活センター東大和=Eメール(cil-ymt@violin.ocn.ne.jp)、電042(567)2622=へ。

## 和歌山で認知症当事者語り合う 住みやすいまちづくりへ「本人ミーティング」

産経新聞 2018年2月8日

認知症と診断された当事者が集まり、暮らしについて語り合う「本人ミーティング」と呼ばれる取り組みが、御坊市と有田地域の1市3町で広がっている。認知症の“本人”同士がつながる場をつくるとともに、当事者の率直な思いを地域の支援に生かすことを目指す国の研究事業の一環。認知症になっても自分らしく生き続けられるまちづくりが求められる中、取り組みは全国で広がりそうだ。

厚生労働省の調査研究事業の一環で、県と福島県で平成29年度から実施。県内では御坊市と広川町が対象地域となったが、同町では有田市、湯浅町、有田川町を含む有田地域の自治体や関係機関と一体となって取り組んでいる。

1月には、有田市箕島の交流施設「AGALA」2階にある和室のフリースペースで「認ともミーティング」として開催された。

同市地域包括支援センターと市立病院、市社会福祉協議会がチームを組んで企画運営。軽度から中度の認知症と診断された70～80代の男女や、もの忘れに不安がある人、その家族ら約30人が集まった。

参加者は自己紹介をしたり、市立病院のもの忘れ外来で診察を行う認知症の専門医の山田信一医師に、不安なことを質問したりした。また、好きなことや困っていること、他の認知症の人に聞いてみたいことなどを発表し合い、笑いも飛び交う中、和やかな雰囲気を楽しんだ。

「できないことや注意されることが増えて自信を失っていたが、諦めなくていいと思えた」「認知症になっても、外に出てみんなと会う機会はあった方がいい」などの前向きな意見も多く、「当事者同士で同じ気持ちを共有しながら、穏やかに時間を過ごしてもらえた」と市地域包括支援センターの社会福祉士、松尾圭さん。「認知症の人にも思っていることがあり、それを家族や福祉関係者らが引き出していくことで、住みやすいまちづくりにつながれば」と話していた。

同様のイベントは今後、広川町や湯浅町、有田川町でも開催される予定で、30年度には冊子などに成果がまとめられるという。

## 厚労省 60歳超の保育士希望増加 年齢不問の募集も 毎日新聞 2018年2月8日

働く女性が増えて保育の需要が高まる中、保育士希望の求職者に占める60歳以上の割合が拡大していることが、厚生労働省の調査で分かった。同省は「もともと資格を持つ希望者も多い。自身の子育てで仕事を一度辞めた人が、経験を生かし復職する例が増えている」と分析している。

## 平成29年の特殊詐欺は1万8千件超 7年連続増、被害390億円 警察庁まとめ



産経新聞 2018年2月8日

昨年1年間の「おれおれ詐欺」などの特殊詐欺の認知件数は、前年比4047件（28・6%）増の1万8201件で、7年連続の増加となったことが8日、警察庁のまとめ（暫定値）で分かった。被害額は約17億4千万円（4・3%）減ったが、依然として高水準の390億3千万円だった。65歳以上の高齢者の被害が、全体のうち72・3%を占めた。警察庁の担当者は「高齢者の被害をいかに減らすかが重要。対策が浸透しているかどうか見直したい」としており、近く被害者からの大規模な聞き取り調査を実施する方針。

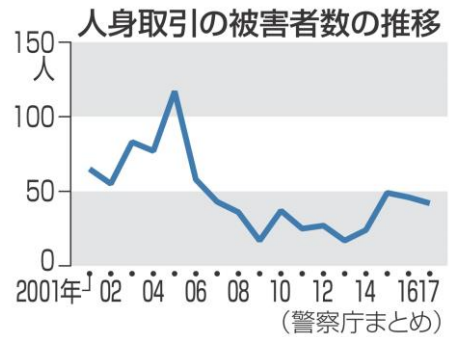
認知件数が最多だったのは、統計を開始した平成16年の2万5667件。以降は減少傾向だったが、22年を境に増加傾向へ転じた。

警察庁によると、昨年は青森や宮崎など5県で被害額が50%以上減ったが、東京や神奈川など大都市圏を中心に16都道府県では、認知件数、被害額とも増加した。

### 人身取引でAV出演強要、警察庁 被害42人、日本人は最多

共同通信 2018年2月8日

金銭の搾取を目的に女性らに売春や労働を強要する人身取引で、全国の警察が昨年1年間に摘発したのは46件（前年比2件増）、30人（16人減）だったことが8日、警察庁のまとめで分かった。被害者は42人（4人減）。うち日本人は最多を更新する28人で、この中にはアダルトビデオ（AV）出演強要の被害に遭った18歳の女子高生15人も含まれている。摘発したのは警視庁など10都府県警。保護した被害者は日本人のほか、タイ人7人、フィリピン人5人など。20歳未満が59.5%となる25人で、20代の11人と合わせ全体の80%以上を占めた。最年少は12歳の小6女兒だった。



### カナダ 国歌、ジェンダーフリーに 変更法が成立

毎日新聞 2018年2月8日

カナダ国歌「オー・カナダ」の歌詞を一部変更し、性の区別をなくす法案が7日、同国総督によって承認され成立した。メラニー・ジョリー民族遺産相が明らかにした。9日開幕の平昌冬季五輪でカナダ人選手が金メダルを獲得すれば、新しい歌詞の国歌が斉唱される。トルドー首相率いる自由党政府が推進しているジェンダー（社会的・文化的性差）間の平等に向けた取り組みの一環。「汝の息子全ての中に流れる真の愛国心」が「われわれ全てに流れる真の愛国心」と変更された。下院で7日、議員らが新しい歌詞の国歌を斉唱すると、大きな拍手に包まれた。（共同）

### 「マンガで学ぶ」新時代

読売新聞 2018年02月08日

#### ビジネス分野で注目

大人向け学習マンガの数々。各社とも「まんがでわかる」シリーズは、若い女性が仕事に悩みつつ、先輩のアドバイスを受けて成長するストーリーが多い

「まんがでわかる——」とタイトルに冠した大人向けの“学習マンガ”が書店をにぎわしている。マンガ好きからは評価されにくいジャンルだが、ストーリー性に学びの機能をプラスしたスタイルは、新たなマンガの可能性を



広げるかもしれない。

ピケティの『21世紀の資本』も、ハラリの『サピエンス全史』も、分厚い活字本で読まなくていい。今やたいがいの名著がマンガ化されていることに驚くばかりだ。今月は中公新書のロングセラーを基にした『まんがでわかる 理科系の作文技術』（原作・木下是雄、作画・久間月慧太郎、中央公論新社）も加わった。

### ポイントは活字

ブームの発火点は、2013年の『まんがでわかる 7つの習慣』（まんが・小山鹿梨子、監修・フランクリン・コヴィー・ジャパン、宝島社）。ビジネスマンに人気の自己啓発書を、バーテンダーを志す若い女性を主人公にマンガ化し、85万部のヒットになった。

このシリーズを作った同社編集者、宮下雅子さんは大のマンガ好きだが、マンガ編集の経験はなかった。しかし外部の編集プロダクションに任せず、自分で物語の設定を作り、マンガ家も自分で探した。「まずマンガとして楽しんでもらい、原著にも興味を持ってもらえるようにしたかった」

各章の間に、活字のまとめと図解を入れたところがポイントだ。「マンガだけでは頭を通り過ぎてしまうが、活字なら理解が深まる。右脳と左脳を両方刺激するような作りをしています」

以後、各社が競ってこの手法を取り入れ、14～15年にピークを迎えたが、意外なところでは、現在135万部の『漫画 君たちはどう生きるか』（原作・吉野源三郎、漫画・羽賀翔一、マガジンハウス）にも同様の手法が見られるのだ。

### 本離れ止めた

「まんがでわかる」と同じく、章の間に活字のページがある。コペル君にあてたおじさんの長い手紙だ。100%マンガにしなかったのはなぜなのか、鉄尾周一・同社取締役に聞いた。

「原著で最も重要なメッセージなので、立ち止まって読んでほしかった」と鉄尾さん。ビジネス書の学習マンガブームは知っていたが、「むしろ、学習マンガと呼ばれないものを目指した」とも。しかし、マンガと活字の“いいとこ取り”でベストセラーになったという点では考え方が近い。

宮下さんも、鉄尾さんも、「本離れの中、どうしたら読まれるかを考えた結果、マンガに行き着いた」と口をそろえる。動物界を描いた『サバイブ 強くなければ、生き残れない』（漫画・麻生羽呂、ダイヤモンド社）というユニークな学習マンガの原作者で大学生の篠原かをりさんは「私の周囲でも、まとまった文字を読む子が減っている。ビジネス書とか哲学書はマンガにした方が広がると思う」。

### 教育の場で生かす

マンガ家で京都精華大学教授のすがやみつるさんは、学習マンガの表現形式による読者の理解度を検証した。その結果、「ストーリー型」は入りやすいが理解度は上がりやすく、文字説明の多い「教授型」は読むスピードは落ちるが理解度は高いとわかった。すがやさんは「理想の学習マンガは、ハイブリッド型の表現が適している」と話す。

「学習マンガの定義は難しいが、マンガは教育の場でもっと生かせるはず」と語るのは、企画プランナーの山内康裕さん。日本財団が15年から行っているプロジェクト「これも学習マンガだ！」の事務局長を務める。名作マンガの中から、学びの要素を持つマンガを200点選んで小冊子を作り、公共・学校図書館からも大きな反響があった。

ビジネス界に限らず、教育界でも、マンガの持つ「学びの機能」は、ますます注目されていくだろう。（編集委員 石田汗太）



月刊情報誌「太陽の子」、隔月本人新聞「青空新聞」、社内誌「つなぐちゃんベクトル」、ネット情報「たまにブログ」も  
大阪市天王寺区生玉前町5-33 社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会 社会政策研究所発行